

市長の意見交換会<小木地区> 質疑要旨

日時：令和7年11月24日（月）16：00～16：40 会場：あゆす会館 大ホール

参加人数：7名（下記市職員は含まない）

佐渡市：渡辺市長、岩崎総務部長、北見企画部長、平山財務部長、小木行政SC 本間 ほか4名

1. 市政について

市長より説明	<p>（説明内容）</p> <p>○持続可能な島づくりの実現に向けた現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会において賑わいを創出して地域を維持。20年後も今と同規模な状態を維持していきたい。 ・稼げる地域、賑やかさを創っていくことで医療、福祉の分野をカバーしていくことが大事である。 ・元気な高齢者を増やすほか、若者、移住者の労働力を確保していく。（さどマッチボックスなどの仕組みを活用） ・子どもに佐渡の事を知ってもらい、佐渡を好きになってもらうための地域教育への取り組み。 ・小木町の重伝建の取り組みや古民家（空家）の活用などは、佐渡のモデルになる動きである。 ・豪雪、地震、豪雨など複数の大規模災害に対応する支出が財政計画に影響を与えている。 ・プライマリーバランス「0」の実現を目指す。 ・医療や水道などのライフライン維持に一般財源からの負担が大きく課題である。
--------	---

2. 質疑

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(小木町地区)	人口減少について 人口減が気になる。特に未婚者や子どもを持たない夫婦が増えているのが気になる。市長はどのように感じているか。	<p>・高齢者の健康寿命日本一も大事です。検診等しっかり受診していただきたい。</p> <p>・以前は結婚すると飯が食える（生活が成り立つ）と言われていたが今はそうではない。国が思い切った政策を打ち出さないといけない。例えば出産後3年間は仕事に来なくて良いと言いたいが、佐渡は仕事を休まれると替わりがいない。市では、子どもを欲しい人が資金面に不安なく、子どもを育てられるように支援している。加えてソフト面で支援して安心して子育てができて「楽しいな」と思わせることが大事で、この点頑張っていきたい。</p>	子ども若者課
(小木町地区)	空き家対策について 小木町でも空き家が増えているが、対策はあるか。	<p>・市は目的外での個人情報の閲覧ができないことと、空き家対策は個人財産に関わるので、それぞれの地域が主体となって頑張ってもらいたい。市民はご近所や親類など、周りの情報をよく知っている。市は、お試し住宅で貸す仕組み、関係人口の拡大につながる二地域居住を進めていきたい。空き家情報も収集しているが、空き家となっても貸したくない人が多く、この点については課題である。良い情報があれば行政に伝えていただきたいし、とにかく地域と協力して進めていきたい。</p>	移住交流推進課 生活環境課